

製品名: STAT5A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81188**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:20-1:50,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	90.6kDa

抗原情報

遺伝子名	STAT5A
別名	MGF; STAT5
遺伝子 ID	6776.0
SwissProt ID	P42229
免疫原	大腸菌で発現したヒト STAT5A (AA: 583-794) の精製された組み換え断片。

背景

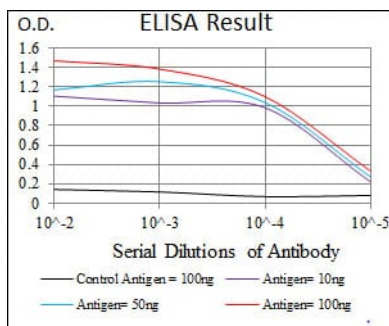
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインや成長因子に反応して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞

核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、IL2、IL3、IL7、GM-CSF、エリスロポエチン、トロンボポエチン、そして様々な成長ホルモンなど、多くの細胞リガンドによって活性化され、それらの反応を媒介します。TEL/JAK2 遺伝子融合を伴う骨髄腫およびリンパ腫におけるこのタンパク質の活性化は、細胞刺激とは無関係であり、腫瘍形成に必須であることが示されています。この遺伝子のマウスにおける同等のタンパク質は、BCL2L1/BCL-X(L)の発現を誘導することが判明しており、これはこの遺伝子が細胞内で抗アポトーシス機能を持つことを示唆しています。

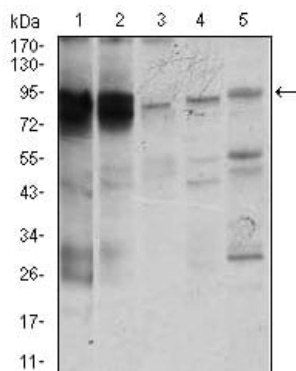
研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

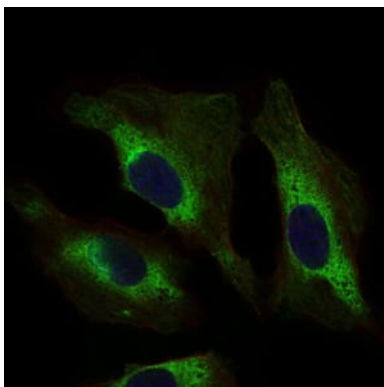
画像データ



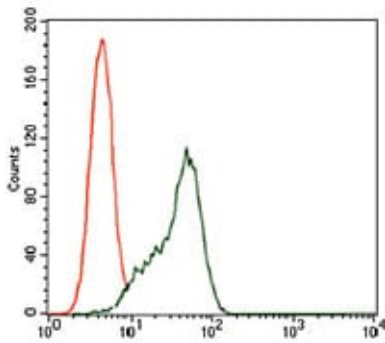
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



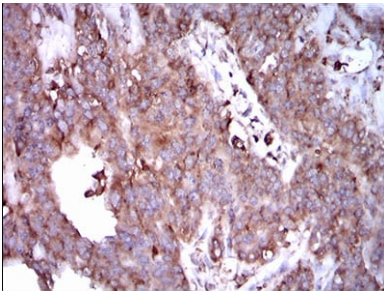
K562 (1)、MOLT4 (2)、HeLa (3)、Jurkat (4)、および A431 (5) 細胞溶解物に対する STAT5A マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



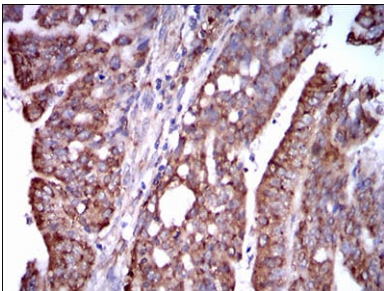
STAT5A マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



STAT5A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による STAT5A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による STAT5A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。